

授業科目等の概要

(医療専門課程 作業療法科 昼間I部) 2019年度																
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携	
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任		
○			外国語	英会話を通してコミュニケーション能力を身につけます。国際的な感性を身につける。	1 前期	30	2	○			○			○		
○			情報社会学	コンピューターの基本的な操作方法を学び、ワード・エクセル・パワーポイントが使用することができる。	1 前期	30	2	○			○				○	
○			社会福祉学	社会福祉の理念と意義について学び、関連する制度・施策や動向などを説明することができる。	2 前期	30	2	○			○				○	
○			心理学	心理学の基礎、心理テストなどを通して人の心の動きを学び、相手を理解するための基礎知識を身につける。	1 前期	30	2	○			○				○	
○			生物学	解剖学・生理学の履修に必要なとなる生物学の基礎知識（ヒトの生活活動や生命現象の仕組み）について説明することができる。	1 前期	15	1	○			○				○	
○			物理学	運動学の履修に必要なとなる運動や力について知り、様々な現象や法則を説明することができる。	1 前期	15	1	○			○				○	
○			統計学	統計学の必要性について説明できる。また、研究および論文作成等に必要な統計手法が使用することができる。	3 前期	15	1	○			○			○		
○			保健体育	一般スポーツおよび車椅子スポーツを行い、障害者スポーツの種類や特性を説明することができる。	1 前期	45	1			○	○			○		
○			コミュニケーション論	コミュニケーションの基本原則を学び、社会人として必要な礼儀やマナー、コミュニケーション技法を身につける。	1 後期	30	2	○			○				○	
○			解剖学 I	人体の構造のうち、筋・骨格系について説明することができる。	1 前期	30	2	○			○				○	



○		整形外科学Ⅰ	整形外科的疾患の病態・診断・治療について説明することができる。	1 後期	30	2	○			○		○	
○		整形外科学Ⅱ		1 後期	30	2	○			○			○
○		神経内科学Ⅰ	神経内科的疾患の病態・診断・治療について説明することができる。	1 前期	30	2	○			○			○
○		神経内科学Ⅱ		1 後期	30	2	○			○			
○		精神医学	精神疾患の病態・診断・治療について説明することができる。	1 後期	30	2	○			○			○
○		小児科学	小児疾患の病態・診断・治療について説明することができる。	2 前期	15	1	○			○			○
○		臨床心理学	臨床現場で生かすことのできる臨床心理の理論や心理検査、心理療法について説明することができる。	1 後期	15	1	○			○			○
○		医学概論	医療全体の歴史的な流れや現状と問題点について説明することができる。	1 前期	15	1	○			○			○
○		リハビリテーション医学	リハビリテーションとは何か、歴史や考え方、近年の動向、各疾患のリハビリテーションについて説明することができる。	1 前期	15	1	○			○			○
○		チーム医療論	各専門職の役割について学び、リハビリテーション・チームとして機能するために必要な事を説明することができる。	1 後期	15	1	○			○			○
○		作業療法概論	作業療法の定義、歴史や近年の動向について説明することができる。	1 前期	15	1	○			○			○
○		基礎作業学概論	作業とは何か。作業療法の基本的な枠組みについて説明することができる。	1 前期	15	1	○			○			○
○		基礎作業学	作業について、作業療法の理論（作業科学・MOHO・MTDLPなど）を説明することができる。	2 後期	15	1	○			○			○

○		基礎作業学Ⅰ		1 前期	45	1			○	○		○		
○		基礎作業学Ⅱ	作業療法の基礎となる作業活動を経験し、必要な道具や手順について説明することができる。また、分析の視点を説明することができる。	1 後期	45	1			○	○		○		
○		基礎作業学Ⅲ		2 前期	45	1			○	○		○		
○		作業療法評価学 概論		1 後期	15	1	○			○		○		
○		身体機能評価学	身体機能評価の種類・方法について、説明することができる。	2 前期	15	1	○			○		○		
○		身体機能評価学 実習	身体機能評価について、適切な検査方法を学び、実施することができる。	2 前期	45	1			○	○		○		
○		認知・精神機能評価学	認知・精神機能評価の種類・方法について、説明することができる。	2 前期	15	1	○			○			○	
○		認知・精神機能評価学 実習	認知・精神機能評価について、適切な検査方法を学び、実施することができる。	2 前期	45	1			○	○			○	
○		作業治療学 概論	作業療法の流れ・基本的事項について、説明することができる。	2 前期	15	1	○			○		○		
○		作業治療学 中枢神経Ⅰ	脳血管障害について、障害像・評価・治療の基本的な考え方を説明することができる。	2 前期	15	1	○			○		○		
○		作業治療学 中枢神経Ⅱ	頭部外傷・パーキンソン病などについて、障害像・評価・治療の基本的な考え方を説明することができる。	2 前期	15	1	○			○		○		
○		作業治療学 中枢神経Ⅲ	神経難病について、障害像・評価・治療の基本的な考え方を説明することができる。	2 後期	15	1	○			○		○		
○		作業治療学 整形外科Ⅰ	脊髄損傷・末梢神経障害・手外科について、障害像・評価・治療の基本的な考え方を説明することができる。	2 前期	15	1	○			○		○		
○		作業治療学 整形外科Ⅱ	リウマチ等炎症性疾患・変形性関節症・骨折などについて、障害像・評価・治療の基本的な考え方を説明することができる。	2 後期	15	1	○			○		○		

○		作業治療学 内部障害	呼吸器・循環器・代謝性疾患、悪性新生物（ターミナル期）障害像・評価・治療の基本的な考え方を説明することができる。	3 年 前期	15	1	○			○		○		
○		作業治療学 老年期障害	高齢者の特徴的な症状や廃用症候群、認知症の評価・治療の基本的な考え方を説明することができる。	2 年 後期	15	1	○			○		○		
○		作業治療学 精神障害	代表的な精神疾患について、臨床像・疾患特性・評価・治療の基本的な考え方を説明することができる。	2 年 前期	30	2	○			○		○		
○		作業治療学 発達障害	発達障害児の障害像・評価・治療の基本的な考え方を説明することができる。	3 年 前期	30	2	○			○			○	
○		作業治療学 高次脳機能障害	高次脳機能障害について、病巣と症状・評価・治療の基本的な考え方を説明することができる。	2 年 後期	30	2	○			○			○	
○		職業関連活動学	身体機能障害、認知・精神機能障害の就労に必要な情報と評価及び支援方法について説明することができる。	3 年 前期	30	2	○			○		○		
○		義肢・装具学	義肢の構造と適応、装具の種類と適応、スプリントの製作技法について説明することができる。	2 年 前期	15	1	○			○		○		
○		日常生活活動	日常生活活動（ADL）の概念を理解し、ADL支援を行うための過程について、説明することができる。	2 年 前期	30	2	○			○		○		
○		日常生活活動 実習	日常生活活動（ADL）について、障害が及ぼす影響を学び、それに対する援助・介助方法について説明することができる。	2 年 前期	45	1			○	○		○		
○		地域作業療法学	保健・医療・福祉の概念や関連法規、地域での作業療法実践について学び、地域作業療法の特徴や広がりについて説明することができる。	3 年 前期	15	1	○			○		○		
○		生活環境学	生活する人に適した環境を実現するための基本的知識を学び、住宅改修に必要な製図を作成することができる。	2 年 前期	15	1	○			○		○		
○		生活支援機器学	対象者が自らやりたいことができる生活を達成するために必要な道具や福祉用具、関連する制度について、説明することができる。	2 年 前期	30	2	○			○		○		
○		臨床実習Ⅰ	臨床実習施設・指導者のもと、作業療法士が働く現場を見学し、実習施設の役割、作業療法士の役割について説明することができる。	1 年 後期	90	2			○		○		○	○
○		臨床実習Ⅱ	臨床実習施設・指導者のもと、実際の作業療法の評価などを体験し、対象者に合わせた評価が実施することができる。	2 年 後期	360	8			○		○		○	○

○		臨床実習Ⅲ	臨床実習施設・指導者の下、実際の作業療法の評価・治療などを経験し、評価と治療計画の繋がりが説明することができる。	3 年 前期	360	8				○	○	○	○
	○	国家試験対策Ⅰ	基礎医学領域の過去問題を中心に解き、間違っている箇所について説明することができる。	3 年 前期	60	2	○			○	○		
	○	国家試験対策Ⅱ	臨床医学領域の過去問題を中心に解き、間違っている箇所について説明することができる。	3 年 後期	60	2	○			○	○		
	○	国家試験対策Ⅲ	基礎作業療法学領域の過去問題を中心に解き、間違っている箇所について説明することができる。	3 年 後期	60	2	○			○	○		
	○	国家試験対策Ⅳ	作業治療学Ⅰ（身体障害、発達障害）領域の過去問題を中心に解き、間違っている箇所について説明することができる。	3 年 後期	60	2	○			○	○		
	○	国家試験対策Ⅴ	作業治療学Ⅰ（精神障害）領域の過去問題を中心に解き、間違っている箇所について説明することができる。	3 年 後期	60	2	○			○	○		
	○	作業療法研究法	作業療法に関連のある研究法を列挙し、説明することができる。	3 年 前期	15	1	○			○	○		
	○	骨学	人体における運動器の骨・関節構造をスケッチし、骨の各部の名称を説明することができる。	1 年 前期	30	2	○			○	○		
	○	筋学	身体各部の筋の起始、停止、神経支配が述べられるようにします。また、筋の形状や重なりについて説明することができる。	1 年 後期	30	2	○			○	○		
	○	作業療法 演習Ⅰ	臨床実習で必要となる、言葉遣い、態度を身につけ、守秘義務、記録について説明することができる。	1 年 後期	15	1	○			○	○		
	○	作業療法 演習Ⅱ	臨床実習Ⅱを有意義な学びの場にするを目的とし、接遇、記録、評価方法などを身につける。	2 年 後期	30	2	○			○	○		
	○	作業療法 演習Ⅲ	臨床実習Ⅲを有意義な学びの場にするを目的とし、接遇、記録、評価・目標立案方法を身につける。	3 年 前期	30	2	○			○	○		
合計					77	科目	2835 単位時間 ( 123 単位)						

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
授業科目の成績評価は、学年末において各学期末に行う試験、実習の結果、履修状況等を総合的に勘案して行い、校長は課程修了の認定を行う。	1 学年の学期区分	前後期
	1 学期の授業期間	17 週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3（3）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。